

1. 媒体作成条件

項番	項 目	内 容							
1	作 成 単 位	同一料金月、同一料金群でお客さま単位（会社コード単位）							
2	フォーマット形式	3. 5インチFD				CD-R	MO	EDI 解凍時	
		2 HD		2 DD				2 HD	
		1. 25 MB	1. 44 MB	640 KB	720 KB	6 5 0 MB	1 2 8 MB	1. 25 MB	1. 44 MB
3	最大出力件数 （圧縮時）	2, 200 レコード	2, 600 レコード	1, 200 レコード	1, 350 レコード			2, 200 レコード	2, 600 レコード
		(26, 000 レコード)		(15, 000 レコード)		圧縮なし			
4	使用コード	MS-DOS：J I Sコード I B M：E B C D I Cコード				MS-DOS：J I Sコード			
5	レコード長	MS-DOS：固定長 512バイト+2バイト （復帰、改行コードが付加されます） I B M：固定長。5 1 2 バイト				MS-DOS：固定長 512バイト+2バイト （復帰、改行コードが付加されます）			
6	ファイル形式	MS-DOS： 固定長テキストファイル形式 I B M： 固定長ファイル形式 （1枚に収容しきれない場合は同一ファイル名で、複数枚作成します。）				MS-DOS： 固定長テキストファイル形式			
7	ファイル名	【FD、MO、CD-R】 K+会社コード（会社コード→弊社がお客さま識別するために付与した識別コード5桁、Kについては、K 又は D となる。） 例：K12345 圧縮時：K または D+会社コード+拡張子 例：K12345nn.exe（nn：FD 作成通番。01～99） ※“K”は前システムより移行したデータに設定、“D”は媒体変換システム立ち上げ後の新サービス利用者に設定 【EDI】 Y+請求回数（0～9）+請求年（西暦下2桁）+月（1～9、A、B、C）+群（1～9、A～V）+通番（01～99）						データ保存時、お客様にて任意設定	

<圧縮について>

お客さま提供データの圧縮希望時は、フリーソフトウェアの「高圧縮管理プログラムLHA」を使用し、自己解凍形式（プログラム形式）で圧縮します。

【圧縮したデータの解凍手順】

- （1） 実行ファイル（拡張子.exeのファイル）をハードディスク等にコピーし、ダブルクリックします。
- （2） 実行ファイルが自動的に電話番号別明細内訳書の各ファイルを読み出してファイルの復元を行います。

3. レコード構成

(1) 管理レコード

会社コード	予備	データ種類	予備	請求期別・年	請求期別・月	請求期別・群	媒体通番	網種別	媒体識別	請求回数	詳細群	予備
5	6	2	4	4	2	1	2	1	3	1	1	480

(計、512桁)

(2) 電話番号別内訳レコード

局番	電話番号	定期分割区分	データ種類	レコードNO	レコード数	ご請求番号	部課別コード	予備	減算不能区分	予備	ご利用期間基本料等初日	ご利用期間基本料等末日	ご利用期間ダイヤル通話料等初日	ご利用期間ダイヤル通話料等末日	検針日前回	検針日今回
6	4	1	2	2	2	10	6	1	1	12	4	4	4	4	4	4

予備	ご請求額	予備	請求内訳 1						請求内訳 2 請求内訳 1 5	請求内訳 1 6 ※						予備
			利用内訳コード 1	請求内訳コード 1	日割表示 1	内訳金額 1	残回数 1	税区分 1		利用内訳コード 1 6	請求内訳コード 1 6	日割表示 1 6	内訳金額 1 6	残回数 1 6	税区分 1 6	
55	10	5	2	4	1	10	3	2	308	2	4	1	10	3	2	19

(計、512桁)

※請求内訳は、1レコード最大16内訳まで収容します。同一回線番号で17内訳以上の請求内訳がある場合、17内訳目以降は、第2レコード以降に収容します。

(3) 電話番号別内訳レコード2

局番	電話番号	定期分割区分	データ種類	レコードNO	レコード数	ご請求番号	部課別コード	予備
6	4	1	2	2	2	10	6	108

請求内訳 1						請求内訳 2 請求内訳 1 5	請求内訳 1 6 ※						予備
利用内訳コード 1	請求内訳コード 1	日割表示 1	内訳金額 1	残回数 1	税区分 1		利用内訳コード 1 6	請求内訳コード 1 6	日割表示 1 6	内訳金額 1 6	残回数 1 6	税区分 1 6	
2	4	1	10	3	2	308	2	4	1	10	3	2	19

(計、512 桁)

※同一回線番号で、請求内訳が33内訳以上ある場合、第3レコード以降に收容します。第3レコード以降のレコードフォーマットおよびレコード内容については第2レコードと同一となります。

(4) 請求書作成番号合計レコード

ご請求番号	予備	データ種類	レコードNO	レコード数	予備	部課別コード	予備	ご利用期間基本料等初日	ご利用期間基本料等末日	ご利用期間ダイヤル通話料等初日	ご利用期間ダイヤル通話料等末日	検針日前回	検針日今回	予備	請求金額合計
10	1	2	2	2	10	6	14	4	4	4	4	4	4	55	10

請求件数	金融機関コード	口座番号	口座名義	予備	送付先氏名	予備
8	7	8	40	5	40	268

(計、512 桁)

(5) 請求書作成番号合計レコード2

ご請求番号	予備	データ種類	レコードNO	レコード数	予備	部課別コード	予備
10	1	2	2	2	10	6	108

請求内訳1						請求内訳2 請求内訳15	請求内訳16※						予備
利用内訳コード1	請求内訳コード1	日割表示1	内訳金額1	残回数1	税区分1		利用内訳コード16	請求内訳コード16	日割表示16	内訳金額16	残回数16	税区分16	
2	4	1	10	3	2	308	2	4	1	10	3	2	19

(計、512桁)

※同一請求番号で、請求内訳が17内訳以上ある場合、第3レコード以降に収容します。第3レコード以降のレコードフォーマットおよびレコード内容については、第2レコードと同一となります。

(6) 会社合計レコード

会社コード	予備	データ種類	予備	会社合計請求額	会社合計請求件数	予備
5	6	2	4	12	8	475

(計、512桁)

4. レコード内容

(1) 管理レコード

項番	項 目 名		区分	桁数	内 容
1	会 社 コ ー ド		文字	5	弊社がお客さま単位に設定した番号 例：「30009」
2	予 備		文字	6	
3	デ ー タ 種 類		文字	2	「01」を設定
4	予 備		文字	4	
5	請 求 期 別	年	文字	4	西暦 4 桁で記録
6		月	文字	2	「01」～「12」を設定
7		群	文字	1	「1」～「6」 (コード表「項番 5、料金群・詳細群」参照)
8	媒 体 通 番		数字	2	「01」を設定
9	網 種 別		文字	1	「1」…電話
10	媒 体 識 別		文字	3	FDの場合 …「FD△」 MOの場合 …「MO△」 CD-Rの場合 …「CDR」 EDIの場合 …「EDI」 ビリングステーション（注 1）をご契約の場合…「BS△」
11	請 求 回 数		文字	1	同一請求番号で、同一期別内に請求書を発行した回数 （料金群変更時等） ＊ 再発行は対象外 ＊ 回数は0から起算
12	詳 細 群		文字	1	詳細群を「A」～「V」、「0」～「9」で設定 （コード表「項番 5、料金群・詳細群」参照）
13	予 備		文字	480	

(注1)：ビリングステーションとは、電話等サービスの「料金・通話明細データ」を専用 Web サーバーからダウンロードできるオンラインサービスです。

(2) 電話番号別内訳レコード

項番	項 目 名	区分	桁数	内 容
1	局 番	数字	6	電話番号の市外+市内局番を設定 例：03-5353-3636 → 「035353」 11桁電話番号の場合、先頭“0”を除いた局番を設定 例：050-1234-5678 → “501234”
2	電 話 番 号	数字	4	電話番号を設定 例：03-5353-3636 → 「3636」
3	定 期 分 割 区 分	数字	1	「0」を設定
4	デ ー タ 種 類	数字	2	「11」を設定
5	レ コ ー ド N O	数字	2	同一電話番号内でのレコードNoを設定
6	レ コ ー ド 数	数字	2	同一電話番号内でのレコード数を設定
7	ご 請 求 番 号	数字	10	お客様へ送付する請求書ごとに設定したコード 例：「0001234567」
8	部 課 別 コ ー ド	数字	6	お客様がご契約番号単位に設定した部課別コード 設定ありの場合：「000001」～「999999」 設定なしの場合：「000000」
9	予 備	文字	1	
10	減 算 不 能 区 分	数字	1	(コード表「項番 1、減算不能区分コード」参照)
11	予 備	文字	12	
12	ご 利 用 期 間 基 本 料 等 初 日	数字	4	利用期間の初日(開始)および末日(締切)を設定 例：初日 10月 1日 → 「1001」 末日 10月 31日 → 「1031」
13	ご 利 用 期 間 基 本 料 等 末 日	数字	4	
14	ご 利 用 期 間 ダイヤル通話料等初日	数字	4	
15	ご 利 用 期 間 ダイヤル通話料等末日	数字	4	
16	検 針 日 前 回	数字	4	オールゼロを設定
17	検 針 日 今 回	数字	4	
18	予 備	文字	55	
19	ご 請 求 額	数字	10	該当電話番号の請求金額を設定 例：5250円の場合→「0000005250」 マイナス金額の場合、符号付編集 (コード表「項番 4、内訳額マイナス時の記録形式について」参照)
20	予 備	文字	5	

次項へ続く

(2) 電話番号別内訳レコードの続き

項番	項 目 名			区分	桁数	内 容
2 1	請求内訳 1	利 用 内 訳 コ ー ド 1		数字	2	(コード表「項番 3、利用内訳コード」参照)
		請 求 内 訳 コ ー ド 1		文字	4	(コード表「項番 7、請求内訳コード」参照)
		日 割 表 示 1		数字	1	日割→「1」、日割以外は「0」
		内 訳 金 額 1		数字	1 0	請求内訳コード毎の金額を出力 マイナス金額の場合、符号付編集 (コード表「項番 4、内訳額マイナス時の記録形式について」参照)
		残 回 数 1		文字	3	オールスペースを設定
		税 区 分 1		数字	2	(コード表「項番 4、税区分コード」参照)
2 2 ～ 3 5	請求内訳 2 ～ 請求内訳 1 5			3 0 8	2 個目以降の請求内訳を示し、内訳が存在しない場合は、 オールスペースを設定	
3 6	請求内訳 16	利 用 内 訳 コ ー ド 1 6		数字	2	(請求内訳は最大 1 6 内訳までを本レコードに編集し、 1 6 内訳を超える場合は「(3) 電話番号別内訳レコード 2」に編集)
		請 求 内 訳 コ ー ド 1 6		文字	4	
		日 割 表 示 1 6		数字	1	
		内 訳 金 額 1 6		数字	1 0	
		残 回 数 1 6		文字	3	
		税 区 分 1 6		数字	2	
3 7	予 備			文字	1 9	

(3) 電話番号別内訳レコード2

項番	項 目 名		区分	桁数	内 容
1	局	番	数字	6	電話番号の市外+市内局番を設定 例：03-5353-3636 → 「035353」 11桁電話番号の場合、先頭“0”を除いた局番を設定 例：050-1234-5678 → “501234”
2	電 話 番 号		数字	4	電話番号を設定 例：03-5353-3636 → 「3636」
3	定 期 分 割 区 分		数字	1	「0」を設定
4	デ ー タ 種 類		数字	2	「11」を設定
5	レ コ ー ド N O		数字	2	同一電話番号内でのレコードNoを設定 例：「02」～「99」
6	レ コ ー ド 数		数字	2	同一電話番号内でのレコード数を設定
7	ご 請 求 番 号		数字	10	お客様へ送付する請求書ごとに設定したコード 例：「0001234567」
8	部 課 別 コ ー ド		数字	6	お客様がご契約番号単位に設定した部課別コード 設定ありの場合：「000001」～「999999」 設定なしの場合：「000000」
9	予	備	文字	108	
10	請求内訳1	利用内訳コード1	数字	2	(コード表「項番3、利用内訳コード」参照)
		請求内訳コード1	文字	4	(コード表「項番7、請求内訳コード」参照)
		日 割 表 示 1	数字	1	日割→「1」、日割以外は「0」
		内 訳 金 額 1	数字	10	請求内訳コード毎の金額を出力 マイナス金額の場合、符号付編集 (コード表「項番4、内訳額マイナス時の記録形式について」参照)
		残 回 数 1	文字	3	オールスペースを設定
		税 区 分 1	数字	2	(コード表「項番4、税区分コード」参照)
11 ～ 24	請求内訳2 ～ 請求内訳15			308	2個目以降の請求内訳を示し、内訳が存在しない場合は、オールスペースを設定 (請求内訳は最大16内訳までを本レコードに編集し、16内訳を超える場合は「(3) 電話番号別内訳レコード2」[第3レコード(レコードNo「03」)以降]に編集)
25	請求内訳16	利用内訳コード16	数字	2	
		請求内訳コード16	文字	4	
		日 割 表 示 16	数字	1	
		内 訳 金 額 16	数字	10	
		残 回 数 16	文字	3	
		税 区 分 16	数字	2	
26	予	備	文字	19	

(4) 請求書作成番号合計レコード

項番	項 目 名		区分	桁数	内 容
1	ご 請 求 番 号		数字	10	お客様へ送付する請求書ごとに設定したコード 例：「0001234567」
2	予	備	文字	1	
3	デ	ー タ 種 類	数字	2	「51」を設定
4	レ	コ ー ド N O	数字	2	同一ご請求番号でのレコードNoを設定
5	レ	コ ー ド 数	数字	2	同一ご請求番号でのレコード数を設定
6	予	備	文字	10	
7	部 課 別	コ ー ド	数字	6	オールゼロを設定
8	予	備	文字	14	
9	ご 利 用 期 間	初 日	数字	4	利用期間の初日(開始)および末日(締切)を設定 例：初日 10月 1日 → 「1001」 末日 10月 31日 → 「1031」
	ご 利 用 期 間	末 日	数字	4	
	ご 利 用 期 間	ダイヤル通話料等初日	数字	4	
	ご 利 用 期 間	ダイヤル通話料等末日	数字	4	
10	検 針 日	前 回	数字	4	オールゼロを設定
	検 針 日	今 回	数字	4	
11	予	備	文字	55	
12	請 求 金 額 合 計		数字	10	請求書作成単位の請求金額を設定 例：100000 円の場合 → 「0000100000」
13	請 求 件 数		数字	8	請求書作成単位の電話回線件数を設定 例：100 回線の場合 → 「00000100」
14	口座振替	金 融 機 関 コ ー ド	文字	7	口座振替の場合、金融機関コードを設定 口座振替以外は、オールスペースを設定
15		口 座 番 号	文字	8	口座振替の場合、口座番号を設定 口座振替以外は、オールスペースを設定
16		口 座 名 義	文字	40	口座振替の場合、半角カナ左詰めの口座名義を設定 口座振替以外は、オールスペースを設定
17	予	備	文字	5	
18	送 付 先 氏 名		文字	40	請求書送付先名を半角カナ左詰めで出力
19	予	備	文字	268	

(5) 請求書作成番号合計レコード2

項番	項 目 名		区分	桁数	内 容
1	ご	請 求 番 号	数字	10	お客様へ送付する請求書ごとに設定したコード 例：「0001234567」
2	予	備	文字	1	
3	デ	ー タ 種 類	数字	2	「51」を設定
4	レ	コ ー ド N O	数字	2	同一ご請求番号でのレコードNoを設定 例：「02」～「99」
5	レ	コ ー ド 数	数字	2	同一ご請求番号でのレコード数を設定
6	予	備	文字	10	
7	部	課 別 コ ー ド	数字	6	オールゼロを設定
8	予	備	文字	108	
9	請求内訳1	利 用 内 訳 コ ー ド 1	数字	2	(コード表「項番3、利用内訳コード」参照)
		請 求 内 訳 コ ー ド 1	文字	4	(コード表「項番7、請求内訳コード」参照)
		日 割 表 示 1	数字	1	日割→「1」、日割以外は「0」
		内 訳 金 額 1	数字	10	請求内訳コード毎の金額を出力 マイナス金額の場合、符号付編集 (コード表「項番4、内訳額マイナス時の記録形式について」参照)
		残 回 数 1	文字	3	オールスペースを設定
		税 区 分 1	数字	2	(コード表「項番4、税区分コード」参照)
10 ～ 23	請求内訳2～請求内訳15			308	2個目以降の請求内訳を示し、内訳が存在しない場合は、 スペースを設定
24	請求内訳16	利 用 内 訳 コ ー ド 16	数字	2	(請求内訳は最大16内訳までを本レコードに編集し、 16内訳を超える場合は「(5) 請求書作成番号合計レコード2」[第3レコード(レコードNo「03」)以降]に編集)
		請 求 内 訳 コ ー ド 16	文字	4	
		日 割 表 示 16	数字	1	
		内 訳 金 額 16	数字	10	
		残 回 数 16	文字	3	
		税 区 分 16	数字	2	
25	予	備	文字	19	

(6) 会社合計レコード

項番	項 目 名	区分	桁数	内 容
1	会 社 コ ー ド	数字	5	お客様を識別するコードを設定 例：「30009」
2	予 備	文字	6	
3	デ ー タ 種 類	数字	2	「91」を設定
4	予 備	文字	4	
5	会 社 合 計 請 求 額	数字	1 2	会社コード単位の請求金額合計を設定 例：1000000 円の場合→ 「000001000000」
6	会 社 合 計 請 求 件 数	数字	8	会社コード単位の電話番号数合計を設定 例：10000 回線の場合→ 「00010000」
7	予 備	文字	4 7 5	